



2019年7月10日

各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>)
 代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード：2222 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役経営企画部部長 松本真司
 T E L 0859 (22) 7477

2020年3月期第1四半期の売上状況（概算）について

2020年3月期の第1四半期（2019年4月1日～2019年6月30日）の売上状況（概算）についてお知らせいたします。

第1四半期売上高（概算） 10,628百万円 前年同期比 23.6%増

セグメント別売上状況

(単位：百万円)

	第1四半期（4月－6月）			
	当四半期	前四半期	増減	増減率
シュクレイ	3,625	2,718	907	33.4%
ケイシイシイ	2,878	2,502	376	15.0%
寿製菓・但馬寿	2,690	2,394	296	12.4%
販売子会社	1,606	1,347	259	19.2%
九十九島グループ	1,059	695	364	52.4%
その他（注1）	259	61	198	324.0%
小 計	12,118	9,717	2,401	24.7%
調整額（注2）	△1,490	△1,116	△374	33.5%
合 計	10,628	8,601	2,027	23.6%

（注1）当第1四半期より前連結会計年度末に連結の対象となりました、Honey Sucrey Limited（香港）の売上高を「その他」の区分に含めております。

（注2）調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

[補足説明]

当第1四半期累計期間（4月～6月）の売上高は、首都圏での展開強化及びインバウンド対策として注力している国際線ターミナル売店での卸販売強化などの重点施策が奏功したことに加え、改元に伴い史上初となるゴールデンウィーク10連休の活況も追い風となり、前年同期比23.6%増の10,628百万円となる見込であります。

セグメント別では、「シュクレイ」は、新規出店効果や既存店の販売強化により直営店売上が好調に推移し、また、国際線ターミナル売店や駅売店などでの卸売上が伸長したことなどにより、前年同期比33.4%増となりました。「ケイセイセイ」は、国際線ターミナル売店での卸売上が伸長し、また、通信販売が対策強化により堅調に推移したことなどにより、前年同期比15.0%増となりました。「寿製菓・但馬寿」は、地元山陰地区の卸売上及び代理店向け売上の好調などにより、前年同期比12.4%増となりました。「販売子会社」は、昨年11月に新店出店した伊勢神宮内宮前テナント店の好調や国際線ターミナル売店での卸売上の伸長などにより、前年同期比19.2%増となりました。「九十九島グループ」は、前第1四半期より実施した製造ライン新設に伴い、グループ向け売上が増加したことなどにより、前年同期比52.4%増となりました。

[業績予想について]

2020年3月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では、2019年5月13日公表の業績予想からの変更はありません。

なお、当第1四半期の決算発表は、2019年7月29日（月）の予定であります。

以 上